

# Daily Report(号外)

## ～7月の米雇用統計について～

### 結果概要

米国労働省が8月4日に発表した7月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+18.7万人と市場予想(+20.0万人)を下回る結果となりました。6月分は+18.5万人(速報値+20.9万人)に下方修正されました。

業種別では、小売業が前月比+0.9万人(6月▲1.4万人)、教育・ヘルスケア業が同+10.0万人(同+7.1万人)と上昇も、専門・ビジネスサービス業が同▲0.8万人(同+2.3万人)と減少に転じました。

失業率は3.5%と市場予想(3.6%)を下回った他、平均時給は前月比では+0.4%と市場予想(+0.3%)を上回りました。前年同月比では+4.4%と市場予想(+4.2%)を上回りましたが、前月からは変化しませんでした。

労働参加率は62.6%と市場予想通りとなり、前月から変化しませんでした。

### 市場反応(米国市場)

4日の米国株式市場で主要3指数は下落しました。

7月の米雇用統計において、非農業部門雇用者数の増加幅は市場予想を下回ったものの、平均時給が市場予想を上回ったことや失業率が下回ったことを受けてインフレの鎮静化に時間がかかると意識されたほか、前日の取引終了後に発表された決算の失望感からアップルが下落したことが影響し、NYダウ平均株価は前日比▲0.43%、S&P500指数は同▲0.53%、ナスダック総合指数は同▲0.36%となりました。

米国債券市場は、雇用統計の結果を受けFRBの利上げが継続するとの見方が後退し、10年国債利回りは前日比▲0.14%の4.03%程度と下落しました。

米ドル/円は、雇用の伸びが減速し追加利上げの見通しが後退したことで米国債利回りの下落による日米金利差の縮小を受け、市場では前日比82銭程度円高ドル安の141.76円/ドルと下落して取引を終えました。

原油先物市場は、サウジアラビアとロシアが減産を1カ月延長すると表明したことや雇用統計の結果を受けて、景気後退による原油需要の伸び悩み懸念が後退したことから、WTI原油先物9月限は前日比+1.56%の1バレル=82.82ドルと上昇しました。



(期間)2022/1/1～2023/8/4 (出所)Bloomberg

運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 また、シミュレーション等(前提は資料参照)については結果を確約するものではありません。

## 評価・今後の見通し

7月の雇用統計は非農業部門雇用者数が市場予想を下回った一方、失業率は低下し平均時給は伸びが加速するなど、強弱入り混じる結果となりました。

非農業部門雇用者数の市場予想を下回る結果は労働需給の緩和を示唆しているとみられるものの、低水準で推移する失業率や賃金インフレの継続などから、依然として利上げの動向に対して注目が集まっています。

今回の雇用統計の結果が更なる利上げを示唆するほどの内容ではなかったことから、市場の予想する9月FOMCでの利上げ確率は、8月7日現在(本レポート作成時点)で利上げ停止予想が90%前後と大半を占めています。

今後の株式市場の見通しとしては、短期的にはFRBの利上げの動向と米経済の先行きが注目されるものと予想します。

利上げ動向について、FRBは引続き、インフレ鈍化と米経済のソフトランディングの達成に向けて慎重に舵取りを進めていくものと考えます。インフレ低下が思うように進まず利上げの最終到達点の上昇や利上げ期間が想定より長引く場合、利上げ停止後もインフレ継続により再度利上げが必要となった場合、また、利上げにより経済のソフトランディングが難しくなり景気後退の見通しが強まる場合は株式市場が下落するリスクに注意が必要です。

目先は8月10日発表の7月米CPI、8月15日発表の米小売売上高、8月24～26日に開催されるジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長の発言に注目が集まると考えておりますが、株式市場においては経済指標の動向に左右されるボラティリティの高い相場が継続する展開を想定しています。

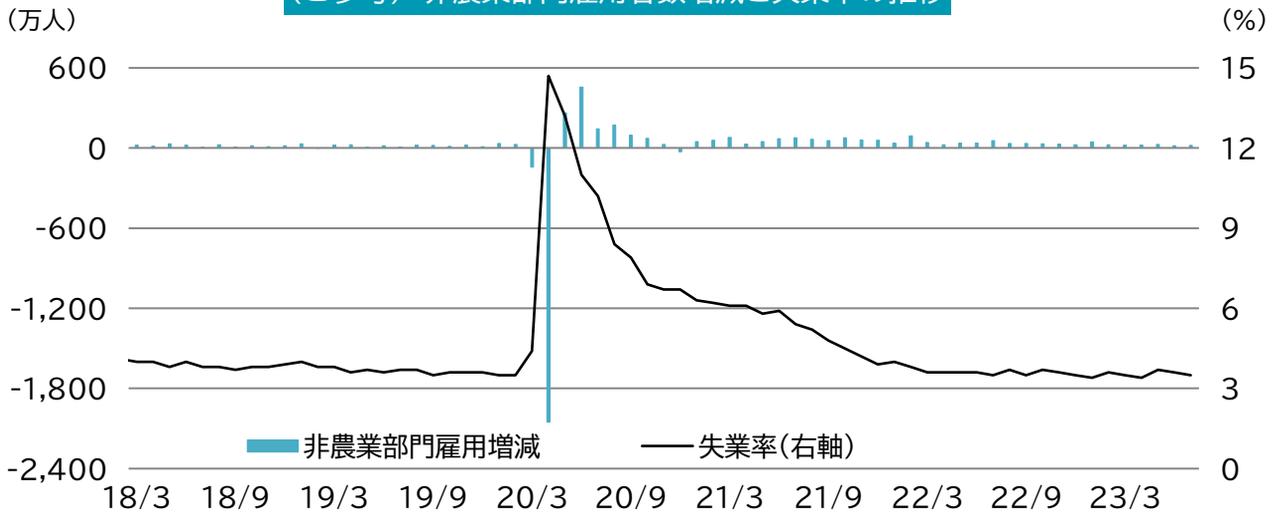
# Daily Report(号外)

## (ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	23/2	23/3	23/4	23/5	23/6	23/7
非農業部門	+24.8	+21.7	+21.7	+28.1	+18.5	+18.7
鉱工業部門	+1.8	-1.9	+2.5	+2.4	+3.1	+1.8
建設業	+1.4	-0.9	+1.1	+2.5	+2.6	+1.9
製造業	+0.3	-1.2	+0.9	-0.4	+0.6	-0.2
資源・鉱業	+0.1	+0.2	+0.5	+0.3	-0.1	+0.1
サービス部門	+17.5	+17.6	+15.4	+23.1	+9.7	+15.4
卸売業	+0.7	+0.4	-0.2	+0.8	-0.8	+1.8
小売業	+4.8	-1.9	-0.2	+2.1	-1.4	+0.9
輸送・倉庫業	-1.8	+1.6	-1.5	+1.9	-0.9	-0.8
情報	-0.8	+0.3	+0.3	-0.4	-0.5	-1.2
金融	+0.0	-0.5	+2.7	+1.3	+0.9	+1.9
専門・ビジネスサービス業	+2.1	+4.5	+4.8	+4.5	+2.3	-0.8
人材派遣業	-1.0	-0.3	-2.1	-0.7	-2.0	-2.2
教育・ヘルスケア業	+6.4	+7.0	+7.7	+8.8	+7.1	+10.0
娯楽・宿泊業	+5.7	+4.6	+1.1	+2.8	+1.9	+1.7
その他	1.4	1.9	2.7	2.1	3.1	4.2
政府部門	+5.5	+6.0	+3.8	+2.6	+5.7	+1.5
失業率(%)	3.6	3.5	3.4	3.7	3.6	3.5
平均時給(前年同月比、%)	4.7	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4

## (ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2019年3月~2023年7月 (出所)Bloomberg